

## 所 信 表 明

本日ここに、第60回宇和島市議会臨時会を招集し、今回提出しております議案のご審議をお願いするにあたりまして、市長就任にあたっての所信の一端を述べさせていただき、清家議長をはじめ議員各位、市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、8月27日の宇和島市長選挙におきまして、市民の皆様のご信任を賜り、9月11日より市長に就任いたしました。改めて職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

この度の挑戦は、やはり市議会議員時代における様々な経験がきっかけであることは言うまでもございません。元々水産業界における営業マンをしていた私は、水産物のみならずこの地域の産物を売ることこそが、この地域の仕事、雇用分野における未来を切り開いていくんだという強い信念の下、様々な挑戦をしてまいりました。時に、中村知事率いる愛媛県の営業本部にも同行し、彼らがどのような営業活動をしているのかを研究し、宇和島市においても同じような力強い営業活動に繋げることができないだろうか、市議会で提案することもございました。このようなライフワークともいべき活動を続ける一方で、無所属無党派を選択した私が市議会議員としての仕事をしていくために必要なことは、あらゆるグループ、団体へと飛び込み、そこから聞こえてくる声を自らが感じ、自らが考えていくことであると、そう肝に銘じ、全力で活動してきたつもりであります。このような活動の繰り返しの中で感じたこと、それは現在の宇和島市は、主役である市民の皆様の切なる声に対し、果たして耳を傾けることができているだろうかという疑問であり、このことこそが宇和島市政の原点でなければならないという思いであります。また、今回の選挙戦におきましても、旧津島町の由良半島にある須下や山手の御檣、上檣、旧三間町における音地、旧吉田町の玉津や大良、そしてあらゆる町中など、本当に宇和島市は広いということをしみじみと感じながら歩き廻り、そこで多くの声を聞いてまいりました。そこには様々な生活様式があり、それから導かれる考え方があつた。そうであるのであれば、宇和島市は、限ら

れた価値観のみで方針が決められるのではなく、このような多様な価値観に触れながら、そして決めるべき時はしっかりと決めていくという姿勢で、これからの未来への道を切り開いていくべきだという確信にいたった訳でございます。

そのため、私はこの原点を忘れることなく、今から申し上げる点に重点を置きながら施策の推進を図ってまいります。

まずは、あらゆる施策の大前提として、愛媛県との連携と、積極的な広報戦略は必須であると考えております。この地域をよくしていきたいという同じ目標を掲げている愛媛県との協働による力強い連携こそがこの宇和島市により多くの実需をもたらすものであると考えます。そして、その背景には宇和島市内外、時には国外まで、まずは多くの方々に宇和島市を知っていただくためにも企画広報力を磨かなければなりません。また、特にこの広報力は、この地域の主役である市民の皆様に対して、宇和島市が今何を考えているのか、何をしようとしているのかを共有していただく意味で重要であり、この共有こそが、共に未来を築いていく原動力となり、宇和島市の再生に繋がるものであると信じております。私は、この企画広報力の強化のために、宇和島市の組織改編や、また、第三者のお知恵をお借りすることも含めまして、今後果敢に取り組んでいきたいと考えております。

次に柱となる3つの施策について述べさせていただきます。

第一に、経済、雇用の未来に繋がる施策を展開します。

宇和島市の経済、雇用を力強いものとするために、トップセールスを含めた営業活動の更なる強化を図ります。市民の皆様の安定した暮らしの原資を築くきっかけづくりを宇和島市の最重要課題として掲げることによりその実需を産み出し、企業の体力を増進することが肝要であり、それを進めることが、結局内需を担う企業の安定経営に繋がるものであると確信をしております。このように地元にかにお金を落としていくかを常に意識しながら、その仕組みづくりを含めて行動してまいります。

第二は、子供達の未来に繋がる施策を展開します。

少子化が進む中、子供達は宇和島市の宝であり、彼らが10年後、20年後の宇和島市を支える未来の担い手として、自分達の住むまちに誇りを持ち、将来に向かって希望をもって育つためには、学校教育の充実はもちろんのこと、社会教育を通じた人間形成に力を入れるといった、子供達への投資を強力に進めたいと考えております。そのためには、ハード面、ソフト面を問わず子育て支援策や、教育環境の整備、充実に力を入れていきます。

第三は、健康づくり、生きがいづくりの未来に繋がる施策を展開します。

これまでこの地域を支えて下さいました我々の諸先輩方が、第一線を退いた後も、健康でそして笑顔を絶やさず暮らしていくことができますよう、予防策を含めた健康づくりプログラムを策定、実行し、また、これまで培われた経験則を、例えば子供達の社会教育分野へとその力を発揮していただくなど、生きがいづくりに取り組みます。その中で子供から高齢者まで、障害のある人もない人も、すべての市民の皆様が生き生きと安心して暮らせる社会へと繋げていきたい、そう考えております。

この他にも防災施策や観光施策の充実など挙げればキリのないところでございますが、これらの施策の推進にあたりましては、効率的な行財政運営に努めるとともに、市民に最も身近な行政組織として、市民の皆様から共感が得られる市政に全力で取り組む所存でございます。

議員各位はもとより、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げまして、私の所信表明といたします。

平成29年9月19日

宇和島市長 岡原 文彰